

第40回評議員会で春闘方針を確定

佐賀県労連は1月17日高教組会議室において第40回評議員会を開催。2015年春闘方針ならびに組織拡大方針を全会一致のもとで可決しました。

春闘方針では賃上げ世論を築くために労働組合が見える運動を展開すること、そのために全組合が何らかの形で運動に参加することを確認しました。また、地域経済の疲弊や都市との格差を解消するため公契約条例の制定や非正規労働者の待遇改善を訴える自治体キャラバン行動の展開、官民一体で県労連加盟の組合の賃金を何としても引き上げようと呼びかけました。

討論では、医労連から今年で20回目の東佐賀病院や佐賀病院での長時間夜勤反対の宣伝行動への参加の訴え。自治労連からはNP T再検討会議に1名を派遣することや核兵器廃絶署名2000筆を集めるという報告。年金者組合からは社会保障の改悪問題について。建交労とコープ労組からは春闘の賃上げに向けた報告。ユニオンからは組織拡大について県労連の体制づくりも含め具体的な提案などが発言され春闘方針を補強する豊かな討論がおこなわれました。

その他、今年6月から幹部候補や新幹部などを対象に開校する全労連初級労働学校や、単産、地方、全労連など一体となつてとりくむ組織拡大「総がかり作戦」も確認されました。



佐賀県労連・くらしを守る共同行動合同 「2015新春旗びらき」

評議員会終了後には、教育会館第1会議室に会場を移し「新春旗びらき」を開催。昨年に続き、くらしを守る共同行動と共催し県労連のほか民主団体や個人など約50人が参加しました。主催者あいさつで県労連の北野議長は評議員会で春闘方針を決定したことを報告。「憲法の前文ほど優



れた文章はない。安倍政権の暴走をストップし、たたかう労働組合として大幅賃上げを勝ち取ろう」と呼びかけました。来賓の挨拶で自由法曹団からは「原発再稼働や諫早湾干拓の開門など今年は勝負の年になる。」、1000人委員会代表の大草さんからは「これまでの垣根を越えてつながっていきましょう」と呼びかけました。その後、和やかな雰囲気のもとで、各団体から今年一年の抱負と安倍暴走政治ストップへの決意が報告されました。予定していた終了時間が大幅に過ぎてしまいましたが、最後は全員で輪になって「団結ガンバロウ」を歌い今年一年をみんなの力を結集し、良い年にしようと確認しあいました。